

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 1 農業委員会費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
131,623,766 円	円	10,017,000 円	円	1,476,500 円	120,130,266 円

2 農地調査・調整事務事業

予算現額 200,000 円
 事業決算額 199,405 円
 予算執行率 99.7 %

《 事業概要 》

農地に関する紛争が生じた場合の調査、仲介等の事務、農業生産法人に関する事務を行うもので、平成20年度における市内の生産法人は24法人あり、年1回農業生産法人からの報告書を受け、生産法人の要件等を確認を行った。

《 事業評価 》

農業生産法人からの報告書によって事業の状況を把握し、農業生産法人としての要件に適合しているか確認し、各農業生産法人の運営状況の把握に努めた。

また、農地の権利関係等に関する相談に対し、農業委員会が指導・仲介を行ったことにより、農地に関する紛争等を未然に防ぎ、適正な活用を図ることができた。

担当 農業委員会事務局

3 農業経営基盤強化措置事業

予算現額 350,000 円
 事業決算額 306,458 円
 予算執行率 87.6 %

《 事業概要 》

農林省所管の国有農地及び開拓財産は、知事が管理者であるが農業委員会職員が管理人として任命され業務を遂行している。

随時国有財産・開拓財産の巡視を行い、知事に年4回の報告を行い、平成20年度の国有農地及び開拓財産に関する現場立会い等の件数は4件であった。

《 事業評価 》

国有農地及び開拓財産について、無断転用・無断転化・無断使用されていないか、又は隣地から侵耕されていないか見回りして確認したことにより、国有農地及び開拓財産の適正な管理ができた。

担当 農業委員会事務局

4 農業者年金受託制度事業

予算現額 1,406,000 円
 事業決算額 1,202,447 円
 予算執行率 85.5 %

《 事業概要 》

農業者年金基金からの業務委託による年金被保険者資格、経営移譲年金及び老齢年金の裁定等確認事務を行っている。平成20年度農業者年金の新規加入者は1人、裁定等の確認件数は、188件であった。

《 事業評価 》

農業者の老後の生活の安定及び福祉の向上と農業者の確保を資するため、農業者年金等の加入推進及び加入者、年金受給者に対する諸手続きの指導、給付等の各種委託業務を行ったことにより、適切な農業者年金事務ができた。

担当 農業委員会事務局

5 農業委員会一般事務事業

予算現額 21,652,000 円
 事業決算額 19,578,670 円
 予算執行率 90.4 %

《 事業概要 》

農業委員に関すること、農地の権利移動・転用の審査及び許認可事務、農地等の利用関係に関する調査及び資料の整備、農業に関する振興計画の推進、農業生産力の発展と農業経営の合理化を図る事務等を行っている。また、委員会だより編集委員会を組織し、市内の農家を対象に農業委員会だよりを年3回発行した。

○農業委員について

農業委員会等に関する法律により委員をもって組織される行政委員会である。選挙による委員40人、選任による委員8人の合計48人の委員で構成されている。

区分	人数(人)	報酬(円)
4月～3月	48	13,285,807

○農地部会について

毎月1回農地部会を開催し、農地の権利移動や農地転用等の審査を行った。

農地の権利移動・転用等処理件数及び面積

区分	件数(件)	面積(a)
3条申請	182	3,812
4条申請	73	542
4条届出	59	403
5条申請	154	1,122
5条届出	152	967

○農業振興部会について

農業に関する振興計画の推進、農業生産・農業経営の合理化及び生活改善、農業に関する情報の収集及び提供、建議等の農業振興に関することを行った。また、担い手農業者や女性農業者と懇談会を行ったほか、食彩フェスタにも積極的に参加した。

《 事業評価 》

農地部会では、優良農地の確保を図るために農地法に基づく許認可の審査及び現地調査を行い、農地の無秩序な転用を防ぎ、適正な転用及び有効利用を図ることができた。

農業振興部会では、担い手及び女性農業者との懇談会で意見交換したことにより農業者の現状を把握できたほか、食彩フェスタへ積極的に参加したことにより、農業委員会活動のPRができた。

また、農業委員会だよりの発行によって農業に対する情報提供を図ることができた。

担当 農業委員会事務局

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 2 農業総務費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
286,441,423 円	円	106,000 円	円	64,800 円	286,270,623 円

2 農業総務一般事務事業

予算現額 7,485,000 円
 事業決算額 5,996,963 円
 予算執行率 80.1 %

《 事業概要 》

農業費全般に係る一般事務として、事務用消耗品や複写機借上料等の支払い、公用車の維持管理等を行った。

《 事業評価 》

一般的な事務経費をはじめ公用車の維持管理経費等、適切な執行に努め、経費の節減を図ることができた。

担当 農林水産政策課

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 3 農業振興費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
228,302,831 円	4,625,000 円	30,046,321 円	円	2,595,896 円	191,035,614 円

1 農業振興一般事務事業

予算現額 31,782,000 円
事業決算額 29,369,710 円
予算執行率 92.4 %

《 事業概要 》

農業の振興を図るべき区域を明らかにし、その土地の農業上の有効利用と農業の近代化のための施策を総合的かつ計画的に推進するとともに、地域の特色を活かし、地域に立脚した農政の推進を行った。

区 分	内 容	金 額 (円)
農業振興地域整備計画の策定	基礎資料の収集と計画の策定	3,780,000
地区農政推進事業	地区の農業振興推進	2,150,000

《 事業評価 》

「農業振興地域の整備に関する法律」に基づき、農業地域の保全、形成や農業振興施策の計画的な推進を図るため、農業振興地域整備計画を策定した。

市内を12地区に分け、各地区毎に農政推進協議会を開催し、それぞれの地域の特性を活かした農政の推進を図ることができた。

担当 農林水産政策課

2 農業振興支援事業

予算現額 82,392,000 円
事業決算額 73,616,332 円
予算執行率 89.3 %

農業の持続的な発展を図るため、中山間地域を中心とした有害鳥獣対策、担い手の育成・確保、地域ぐるみの農地等の適切な保全による多面的機能を確保するための支援を行った。

(1) 有害鳥獣対策事業

《 事業概要 》

有害鳥獣による農作物の被害を防止するため、総合的かつ効果的な被害防止対策を行った。また、捕獲した有害獣の処理方法を調査・研究した。

区 分	内 容	金 額 (円)
農産物獣害対策事業	防護柵の設置 L=56,031m	14,427,000
農山漁村活性化プロジェクト支援交付金	防護柵の設置 L=3,675m	8,753,304
有害鳥獣捕獲委託業務	捕獲頭数 シカ 427頭、サル 70頭、イノシシ 181頭	4,683,000

《 事業評価 》

防護柵の設置、個体数調整等を計画的に推進することによって、獣害被害の拡大抑制に努めることができた。

(2) 集落営農促進対策事業

《 事業概要 》

集落営農組織の基盤強化を図り、農業生産性の向上と集落の活性化を図るため、集落営農を行う団体に対する立上げ補助及び共同機械購入に対する補助を行った。

区 分	内 容	金 額 (円)
共同利用機械等購入事業	機械等購入補助金 5組織	8,149,000
集落営農組織設立事業	設立補助金 1組織 継続補助金 5組織	700,000

《 事業評価 》

集落営農の組織づくりとともに、コンバインなど共同利用機械の導入を支援したことにより、集落営農組織の運営基盤の強化に資するよう努めることができた。

(3) 農用地流動化促進事業

《 事業概要 》

農用地の効率的な利用を促進し、認定農業者等担い手の育成・確保とともに、効率的かつ安定的な農業経営の育成を図るため、新規に利用権を設定した担い手に対する補助を行った。

区 分	内 容	金 額 (円)
農用地流動化促進事業	認定農業者等担い手への農地集積 83ha	10,334,200

《 事業評価 》

認定農業者等担い手への農地集積を促進したことにより、面的集積を推進することができ、併せて耕作放棄地の発生防止を図ることができた。

(4) 農地・水・環境保全向上対策

《 事業概要 》

農地・農業用水等の資源や農村環境の良好な保全とその質的向上を図るため、地域ぐるみでの共同活動と環境負荷を低減する先進的な営農活動を支援した。

区 分	内 容	金 額 (円)
農地・水・環境保全向上対策	共同活動への支援 28組織 営農活動への支援 (1組織)	12,936,619

《 事業評価 》

平成20年度、新たに5組織が取組みを開始し、取組面積は、約1,200haに拡大するなど地域のまとまりと、農村環境の良好な保全を図ることができた。

担当 農林水産政策課

3 数量調整円滑化推進事業

予算現額 94,055,000 円
事業決算額 93,785,160 円
予算執行率 99.7 %

《 事業概要 》

水田農業における米の生産調整（計画的生産）の円滑な推進を図るため、各地域の水田農業推進協議会の推進活動に対する支援を行った。

区 分	内 容	金 額 (円)
生産調整交付金	9地域水田農業推進協議会への交付金の交付	93,450,000

《 事業評価 》

各地域水田農業推進協議会へ生産調整交付金を交付し、各地域の特色ある米の生産調整を支援したことにより、市全体として生産数量の目標（転作目標面積）を達成することができた。

担当 農林水産政策課

4 農村交流等支援事業

予算現額 7,623,000 円
 事業決算額 7,287,428 円
 予算執行率 95.6 %

《 事業概要 》

地元産農林水産物のPRによる消費拡大や、生産者と消費者の交流等を通じた地産地消の推進を図るため、11月2日に大門大通り商店街及び丸之内商店街において「農林水産まつり」を、1月12日にメッセウイング・みえにおいて「食彩フェスタ in つ」を開催した。

区 分	内 容	金 額 (円)
農林水産まつり事業	来場者 約18,000人	2,466,000
郷味津々創作事業	食彩フェスタ 来場者 約30,000人	2,700,000

《 事業評価 》

地元産農林水産物のPRによる消費拡大や、生産者と消費者の交流等を通じた地産地消の推進等により、地域の活性化を図ることができた。

担当 農林水産政策課

5 中山間地域等直接支払事業

予算現額 24,395,000 円
 事業決算額 24,244,201 円
 予算執行率 99.4 %

《 事業概要 》

中山間地域において担い手の育成等による農業生産の維持を通じて、農業・農村の有する多面的機能の確保を図った。

地 区	協定集落数 (集落)	協定面積 (㎡)	金 額 (円)
美 里	6	675,251	13,784,437
白 山	2	128,918	2,707,278
美 杉	17	461,458	7,752,486
合 計	25	1,265,627	24,244,201

《 事業評価 》

協定集落に対し、中山間地域等直接支払交付金を交付することにより、担い手の育成等による農業生産活動等の維持を図るとともに、中山間地域における耕作放棄地の発生が防止されるなど、農業・農村が有する多面的機能の確保を図ることができた。

担当 農林水産政策課

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 4 農業共済費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
67,000,000 円	円	円	円	円	67,000,000 円

1 農業共済事業 予算現額 67,000,000 円
事業決算額 67,000,000 円
予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

農業共済事業の事務費については、平成17年度までは国庫補助金が交付されていたが、平成18年度からは、この補助金が税源委譲により一般財源化され、地方交付税に算入されることになった。

このようなことから、農業共済事業会計へ、事務費として繰出を行った。

《 事業評価 》

農業共済事業の円滑な事業実施にあたり、安定的かつ継続的に財政支援を行い、共済事業の推進に努めることができた。

担当 農林水産政策課

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 5 畜産業費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
6,767,660 円	円	円	円	円	6,767,660 円

1 畜産業振興事業 予算現額 6,786,000 円
事業決算額 6,767,660 円
予算執行率 99.7 %

《 事業概要 》

中南勢地区のと畜解体処理施設である松阪食肉公社の経営を支援した。

区 分	内 容	金 額 (円)
松阪食肉公社への支援	松阪食肉公社負担金	6,727,000

《 事業評価 》

松阪食肉公社に対し、財政的支援を行うことにより、市内畜産農家の経営安定に努めることができた。

担当 農林水産政策課

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,255,981,766 円	1,132,110 円	31,023,250 円	114,700,000 円	186,574,351 円	922,552,055 円

2 市単土地改良事業

予算現額 136,395,906 円
 事業決算額 128,443,644 円
 予算執行率 94.2 %

農業用施設に係る地元自治会・土地改良区等からの要望に対し、農道舗装及び水路改修工事等を実施するとともに、小規模な地元発注工事に対し補助金を交付した。

また、生コンクリート・砕石等を原材料として地元へ支給することにより農業用施設の整備・補修を行った。

(1) 農業用施設改修事業

《 事業概要 》

農道舗装及び用排水路等の改修工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
栗真中山町地内水路改修工事	栗真中山町	水路改修工 延長289m	6,334,682
分部地内農道舗装工事	分部町	舗装整備工 延長181m	1,626,450
一身田平野地内水路改修工事	一身田平野町	水路改修工 延長273m	5,508,300
一身田豊野地内農道舗装工事	一身田豊野町	舗装整備工 延長195m	2,153,550
河芸町西千里地内水路改修工事	河芸町西千里	水路改修工 延長94m	1,798,650
安濃町戸島地内ため池（新池）改修工事	安濃町戸島	堤体改修工 一式	1,265,700
榊原町地内農道舗装工事	榊原町	舗装整備工 延長200m	1,916,250
白山町南家城地内水路改修工事	白山町南家城	水路改修工 延長80m	3,762,021
美杉町太郎生地内水路改修工事	美杉町太郎生	水路改修工 延長118m	3,018,253

《 事業評価 》

農業用施設の改修工事等を行うことにより、営農経費の軽減及び維持管理の省力化に寄与することができた。

(2) 補修用原材料支給事業

《 事業概要 》

地元自治会・土地改良区等が自ら実施する農業用施設の整備・補修について、生コンクリート・砕石・U字溝等の原材料を支給した。

原材料名	件数 (件)	金額 (円)
生コンクリート	77	19,720,433
砕石	99	4,519,255
U字溝等コンクリート二次製品	21	1,917,603

《 事業評価 》

農業用施設の整備・補修に係る原材料を支給することにより、営農経費の軽減及び維持管理の省力化に寄与することができた。

(3) 市単土地改良補助事業

《 事業概要 》

地元自治会・土地改良区等が発注する小規模な農業用施設改修工事について、工事に係る費用の80%を補助した。

補助工種	件数 (件)	金額 (円)
用排水路整備工事補助金	75	46,569,000
農道整備工事補助金	8	7,685,000
ため池整備工事補助金	12	6,894,000

《 事業評価 》

地元自治会・土地改良区等が発注する小規模な農業用施設の改修工事について、工事費用の一部を負担したことにより、営農経費の軽減及び維持管理の省力化に寄与することができた。

担当 農業基盤整備課

3 県営等土地改良事業

予算現額 192,100,000 円
 事業決算額 191,202,529 円
 予算執行率 99.5 %

国・県の補助を受け、農業用排水路の整備工事を実施するとともに、ため池改修事業の計画策定業務を実施した。

また、県営土地改良事業の地元調整にあたり、事業に係る市負担分を負担することにより、営農経費の軽減及び維持管理の省力化を図り、担い手への利用集積向上に努めた。

(1) 事業実施計画調査事業

《 事業概要 》

県営ため池等整備事業の事業採択に向け、地質調査及び計画策定を業務委託し、事業計画書の作成を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
東奥ノ谷池地区ため池等整備事業計画書作成業務委託	芸濃町椋本	事業計画書作成業務一式	3,465,000
東奥ノ谷池測量業務委託	芸濃町椋本	測量業務一式	1,609,278

《 事業評価 》

ため池改修事業を県営事業化することで、国・県の財源を確保するとともに、事業の早期着手を図ることができた。

(2) 団体営基盤整備促進事業

《 事業概要 》

垂水地区及び、大里小野田地区において基盤整備促進事業による工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
垂水地区パイプライン工事	垂水	管水路工 延長1,602m	38,181,385
大里小野田地区パイプライン工事	大里野田町	管水路工 延長681m	17,500,699

《 事業評価 》

農業用用水路をパイプライン化することにより、営農経費の軽減及び維持管理の省力化に寄与することができた。

(3) 県営土地改良事業

《 事業概要 》

ため池整備事業等県営事業の地元調整にあたり、事業にかかる市負担分を負担した。

県営事業名	実施地区	事業内容	金額（円）
ため池等整備事業	松林池地区ほか5地区	ため池等改修一式	27,745,000
基幹水利施設補修事業	安濃川地区ほか1地区	水路改修一式	25,200,000
新農業水利システム保全対策事業	高野地区ほか5地区	水路改修一式	14,803,000
広域営農団地農道整備事業	中勢三期地区	農道整備一式	14,553,000
地域用水環境整備事業	津北部地区ほか1地区	ため池環境整備一式	17,325,000
経営体育成基盤整備事業	桃園西部地区	区画整理一式	7,125,000
農道保全対策事業	津中部地区	農道整備一式	8,625,000

《 事業評価 》

県営事業に係る負担金を負担したことにより、農家の負担を軽減するとともに、営農経費の軽減及び維持管理の省力化に寄与することができた。

担当 農業基盤整備課

4 農業用施設維持管理事業

予算現額 204,658,000 円
 事業決算額 100,437,454 円
 予算執行率 49.1 %

排水機場等主要施設の定期的な整備・補修を実施し、これら施設の適正な操作と維持管理を行い、流域の浸水被害防止を図るとともに、農業用水の安定供給に努めることができた。

なお、執行率が49.1%となった主な要因は、地域活性化・生活対策して予算計上した排水機場改修事業（事業費：103,500,000円）を平成21年度へ繰越したことによる。

(1) 農業用施設維持管理事業

《 事業概要 》

千里排水機場・納所排水機場ほかの設備修繕及び杉谷池改修工事を行った。

修繕料・工事請負費

区分	施工場所	事業内容	金額（円）
千里排水機場ポンプ設備修繕	河芸町東千里	ポンプ設備オーバーホール一式	5,129,250
納所排水機場ポンプ設備修繕	納所町	エンジンオーバーホール一式	7,014,000
中山排水機場遠方監視システム設置工事	栗真中山町	遠方監視システム設置一式	59,976,000
中山排水機場電気設備（電池交換）修繕	栗真中山町	電池交換一式	3,598,061
一志町其村地内用水ポンプ場2号ポンプ分解修繕	一志町其村	用水ポンプ修繕一式	2,310,000
ため池（杉谷池）改修工事	白山町藤	斜樋及び底樋改修一式	3,201,888

《 事業評価 》

排水機場の設備修繕及びため池の改修工事を行ったことにより、流域の浸水被害防止と農業用水の安定供給に寄与することができた。

(2) 排水機場等保守管理事業

《 事業概要 》

各排水機場の保守点検を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
上野・上野新町・千里排水機場巡視点検業務委託	河芸町上野及び河芸町東千里	巡視点検一式	1,708,635

《 事業評価 》

排水機場の適正な保守点検を行ったことにより、流域の浸水被害の防止に寄与することができた。

担当 農業基盤整備課

5 農地一般事務事業

予算現額 791,208,094 円
事業決算額 788,636,414 円
予算執行率 99.7 %

《 事業概要 》

土地改良施設の管理を行うとともに、各種土地改良事業関係の負担金を負担した。

区分	内容	納入先	金額 (円)
国営中勢用水土地改良事業地元分担金	国営事業償還負担金	三重県	521,714,797
中勢用水事業特別負担金	ダム管理費・県営事業償還負担金	中勢用水土地改良区	194,936,000
中勢用水事業国営関連事業負担金	県営事業負担金	中勢用水土地改良区	15,108,000

《 事業評価 》

土地改良施設を適正に管理したことにより、農業生産基盤の安定化に寄与することができた。また、各種土地改良事業関係の負担金を負担したことにより、農家の負担を軽減するとともに、土地改良事業の円滑な執行に努めることができた。

担当 農業基盤整備課

款 6 農林水産業費 項 1 農業費 目 7 農業集落排水費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
373,800,000 円	円	円	円	円	373,800,000 円

1 農業集落排水事業

予算現額 377,607,000 円
事業決算額 373,800,000 円
予算執行率 99.0 %

《 事業概要 》

生活環境の改善、農業用排水及び公共用水域の水質保全に寄与することを目的に、26地区の処理施設の適切な維持管理に要する経費や、事業実施に係る起債の償還を行うため、農業集落排水事業特別会計へ繰出を行った。

農業集落排水事業 372,526千円 (繰出基準額 325,935千円)
 簡易排水事業 1,274千円 (繰出基準額 608千円)

《 事業評価 》

農業集落排水事業特別会計へ繰出を行うことにより、農業集落排水事業の経営の健全化を図り、適切な管理運営や農業用排水の水質保全と農村生活環境の改善に努めることができた。

担当 農業基盤整備課

款 6 農林水産業費 項 2 林業費 目 1 林業総務費

決算額	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
41,579,854 円	円	28,000 円	円	円
				41,551,854 円

2 林業総務一般事務事業

予算現額 1,358,000 円
 事業決算額 1,067,222 円
 予算執行率 78.6 %

《 事業概要 》

林業振興室、並びに各総合支所産業環境課における森林法等に基づく関係事務、及び森林整備協議会の開催等、林業振興の一般的な事務に係る経費の執行管理を行った。

なお、執行率が78.6%となった主な要因は、森林整備協議会の開催回数が当初予定していた回数以下で審議等を終えることができたことに伴い、報酬等に不執行が生じたことによる。

《 事業評価 》

一般事務経費について、適切な事務の執行管理を図ることができた。

担当 林業振興室

款 6 農林水産業費 項 2 林業費 目 2 林業振興費

決算額	財源内訳			
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他
174,452,627 円	2,000,000 円	49,538,200 円	17,200,000 円	3,814,930 円
				101,899,497 円

1 林業振興一般事務事業

予算現額 6,119,050 円
 事業決算額 5,862,140 円
 予算執行率 95.8 %

《 事業概要 》

林業関係団体との調整業務、及び林業関係施設の指定管理者制度、また直営による適切な管理運営等を行った。

施設名	事業内容	金額 (円)
白山町 わかすぎの里	コテージのテラス修繕	184,800
美杉町 林業者宿泊施設 大樹の家	1号棟台所換気扇等修繕 5号棟ガステーブル修繕	337,050

《 事業評価 》

三重県森林協会との連携による研修会等により林業施策の充実に向けた取り組みを進めることができた。また、総合支所との連携による林業関係施設の適切な維持管理等により、施設利用者への安全性、及び利便性の向上を図ることができた。

担当 林業振興室

2 林業振興支援事業

予算現額 2,535,000 円
 事業決算額 1,416,719 円
 予算執行率 55.9 %

《 事業概要 》

林業関係団体等が実施する事業への支援を行い、木材の利用拡大、及び安定供給に向けた取り組みを行った。

なお、執行率が55.9%となった主な要因は、地域活性化・生活対策として予算計上した林業就業促進緊急対策事業（事業費：600,000円）を平成21年度へ繰越したことによる。

区分	事業内容	金額（円）
美杉ブランド材優良展示会事業	秋の木材まつり、展示即売会、記念市等を開催し、市内外に向けた美杉ブランド材のPR活動、及び販売促進活動を行いました。	500,000
木材振興対策事業	素材業者等林業事業体の協同によるイベントの開催等により連携を図り、木材の安定供給に向けた取り組みを行いました。	500,000

《 事業評価 》

イベント等の参加を消費へと繋げる取り組みや、安定した木材供給の構築を目指した取り組みに資するよう努めることができた。

担当 林業振興室

3 森づくり整備事業

予算現額 84,445,000 円
 事業決算額 83,775,342 円
 予算執行率 99.2 %

生産林においては、間伐事業補助金により持続可能な林業経営を通じて森林の多面的機能の向上を図るとともに、公益的機能を重視した環境林においては、環境創造事業等により森林を公共財として位置づけ、水土保全等の公益的機能の高度発揮を目的とする多様な森林づくりを行った。

(1) 間伐促進事業

《 事業概要 》

生産林として健全な森林を造成し良質材の育成等、林業生活活動の活性化を図るとともに、森林の有する多面的機能の維持増進を進めるため、間伐等施策に対する補助を行った。

交付対象者	面積 (ha)	金額 (円)
中勢森林組合・木原造林(株)・三浦林商	451.56	38,430,993

《 事業評価 》

間伐施策に対する支援により、持続可能な林業経営の構築を目標に利用間伐を推進した結果、間伐面積は前年度に比べて約15%減少したが、利用間伐の割合を約5%増加させることができた。

(2) 森林環境創造事業

《 事業概要 》

森林所有者から管理委託された森林を市民全体がその恩恵を享受する公共財産と位置づけ、多様な公益的機能の持続的かつ高度発揮を目的とした環境林整備を行った。

委託名	委託場所	委託内容 (ha, m)	金額 (円)
森林環境創造事業業務委託	河芸町・芸濃町・美里町・白山町・美杉町	間伐	119.71
		受光伐	22.82
		下刈り	17.73
		歩道整備	500.00
			34,344,354

《 事業評価 》

各団地において、環境林整備計画に基づき、森林整備の促進に努めることができた。

(3) 森林整備地域活動支援事業

《 事業概要 》

森林施業計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林所有者等による計画的かつ一体的な森林施業の実施に必要な「施業実施区域の明確化作業」及び「歩道の整備等」に対する支援を行った。

事業内容	面積 (ha)	金額 (円)
施業実施区域の明確化作業等	1,359.62	6,798,100

《 事業評価 》

施業実施区域の明確化作業等により、森林施業の着手が容易となり、森林整備の促進に資するよう努めることができた。

(4) 海岸防災林維持管理業務

《 事業概要 》

マツノザイセンチュウによるクロマツの枯死が急激に拡大する中、三重県森林病虫害防除事業等により防災林としての機能回復を図る維持管理を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
松くい虫防除業務委託	河芸町	薬剤地上散布 1.9ha	115,500
	香良洲町	薬剤地上散布 3.0ha	231,000
中堤防枯れ松伐採運搬業務委託	香良洲町	枯松の伐倒・運搬	215,250
芦原海岸防災林枯松伐倒業務委託	河芸町	枯松の伐倒・運搬	1,050,000
御殿場海岸防災林枯松伐倒業務委託	津興	枯松の伐倒・運搬	492,450

《 事業評価 》

適正な時期での枯松の伐採、搬出や薬剤散布を行うことで、健全な松林の保全を図ることができた。

なお、津興地内の御殿場海岸（松林等）の維持管理については、平成21年3月31日付けをもって県に引き継ぎを行った。

(5) 広葉樹植栽奨励補助事業

《 事業概要 》

森林の保全、水源のかん養、防災その他の自然環境の保護に資するため、皆伐跡地等への広葉樹の植栽を奨励する補助を行った。

区分	交付対象者 (人)	実施地区	面積 (a)	金額 (円)
保育事業 (1年目)	3	美杉町太郎生地 内ほか2地区	68.1	166,845
保育事業 (2年目)	3	安濃町草生地区 ほか2地区	145.0	355,250
新規植栽	9	美杉町八知地区 ほか3地区	146.0	817,600

《 事業評価 》

新規植栽希望者9名に対し植栽補助を行い、里山の荒廃を防止し二次林の育成に努めることができた。

担当 林業振興室

4 市有林維持管理事業

予算現額 3,776,000 円
事業決算額 3,685,537 円
予算執行率 97.6 %

市有財産の価値向上と山林の持つ公益的機能の確保等を目的に市有林整備を行った。

(1) 市有林保育間伐委託

《 事業概要 》

市有林整備を積極的に行うことにより近隣林家への模範を示すとともに、財産価値の向上、地球温暖化防止等に寄与するため、適正な維持管理を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
市有林保育事業(岳ノ洞)	美杉町石名原	利用間伐 1.52ha	2,446,500

《 事業評価 》

森林資源の有効活用を図る観点から、市有林においても作業路を開設し、高性能林業機械による間伐材の搬出を行えるよう努めることができた。

(2) 市有林管理委託

《 事業概要 》

市有林の境界を踏査・確認し、境界標識を塗布するとともに、風倒木等の状況把握を行った。現地確認後は、状況写真・巡視記録等を記載した森林管理台帳の作成を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
市有林管理業務委託	芸濃町・安濃町・美里町・美杉町	巡視 (109ha)	598,500

《 事業評価 》

市有林の現況を把握することにより、計画的に市有林を整備していく基礎資料の作成を進めることができた。

担当 林業振興室

5 林道整備事業

予算現額 61,486,845 円
事業決算額 60,886,640 円
予算執行率 99.0 %

《 事業概要 》

森林の適正な管理や伐採木の搬出などの林業経営の低コスト化を図るため林道等の開設及び改良を行った。

一部の路線では大雨災害により林道法面の大規模崩落が発生したため、緊急工事を施工した。その後、本復旧に向けて実施設計業務を行った。

○林道等開設及び改良工事

森林施業の効率化を図るため、林内作業路（林道等）の整備を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
林道宇都野線開設工事	美杉町下之川	延長244.0m 幅員3.0m	22,320,000
林道矢淵線改良工事	白山町川口	延長27.6m 幅員4.0m 1号箇所 コンクリートブロック工 16㎡ 2号箇所 コンクリートブロック工 37㎡	1,957,000

○林道緊急対策工事

林道朴ノ木谷線において、大雨災害により法面の大規模な崩落が発生したため、緊急対策工事を行った。また、工事施工中の崩落に備え、警報器等の設置業務を併せて行い、工事施工中の安全確保を図った。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
林道朴ノ木谷線地すべり警報器等設置業務委託	美里町北長野	警報器設置 1箇所 警報器移設 1箇所 計器センサー補修等 1箇所	483,000

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
林道朴ノ木谷線崩落緊急対策工事	美里町北長野	延長55.0m 合成樹脂管（＄1500）布設 55m コンクリート柵工 1基	14,947,784

○林道実施設計等業務委託

林道朴ノ木谷線の法面崩落に伴い、本復旧に向けた実施設計等業務を行った。

委託名	委託場所	委託内容	金額（円）
林道朴ノ木谷線実施設計等業務委託	美里町北長野	地質調査 1式 測量業務 1式 設計業務 1式	7,923,246

○県営林道事業負担金

美里町北長野地内の国道163号から経ヶ峰を經由し、芸濃町河内地内の県道津芸濃大山田線に至る集落間を結ぶ交通路として整備している広域基幹林道経ヶ峰線開設工事について、芸濃側工区事業費の市負担金を負担した。

広域基幹林道（経ヶ峰線）負担金

林道開設（森林基幹道・三重県代行）

全体計画 幅員5.0m 延長15,100m

計画期間 平成7年度～平成30年度（24か年計画）

平成20年度負担金 12,250,000円（70,000,000円×負担率17.5%）

《 事業評価 》

林道・作業道の開設及び改良工事等を行うことにより、森林の適正な維持管理や効率的な林業経営に寄与することができた。

また、林道法面崩落に伴う緊急工事等を行ったことにより、二次災害の防止に努めることができた。

担当 林業振興室

6 林道維持管理事業

予算現額 19,036,950 円
事業決算額 18,636,094 円
予算執行率 97.9 %

《 事業概要 》

林道における交通安全の確保及び交通環境等の維持・保全を目的とし、路面整正や排水施設及び交通安全施設の整備、補修用原材料の支給、草刈業務等を行った。

また、林道への災害を未然に防ぎ、適切な維持管理を行うため、林道の現況（危険箇所等）調査を行った。

○林道維持管理

区 分	箇所数	内 容	金額 (円)
施設修繕料	14箇所	排水路修繕・法面修繕等	4,658,800
委託料 (施設維持管理委託)	13箇所	除草作業	2,090,800
機械借上料	8箇所	小規模崩落土撤去等	1,418,025
補修用原材料支給	32箇所	生コンクリート支給等	6,044,469
市単林道事業補助金	3箇所	林道路肩改良等	1,694,000

○林道現況調査業務

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
林道維持管理事業 (現況調査) 業務委託	市内	林道の現況調査 (パトロール)	2,730,000

《 事業評価 》

林道・作業道の改修や補修を行うことにより、林道を常に適切な状態に保つことができ、林道への災害を最小限に食い止め、効率的な林業経営に寄与することができた。

担当 林業振興室

7 緊急治山事業

予算現額 190,155 円
 事業決算額 190,155 円
 予算執行率 100.0 %

《 事業概要 》

平成20年9月5日の集中豪雨により、河芸町南黒田地内の人家裏で山腹の滑落が発生したため、本工事までの仮設工事として、崩落箇所をブルーシートで被覆する応急措置を講じた。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
河芸町南黒田地内山腹被覆緊急対策工事	河芸町南黒田	亀裂面の被覆 300m ²	190,155

《 事業評価 》

人家裏での山腹の滑落であり、さらに崩落する恐れがあったことから、翌日には施工を完了させ、速やかな緊急対策を講じた。また、県との本工事にかかる協議や、河芸総合支所との避難確認等、各関係機関との連携により迅速で的確な対応に努めることができた。

担当 林業振興室

款 6 農林水産業費 項 3 水産業費 目 2 水産業振興費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
6,506,354 円	円	円	円	円	6,506,354 円

1 水産振興支援事業

予算現額 8,850,000 円
 事業決算額 6,147,000 円
 予算執行率 69.5 %

伊勢湾内の漁場の環境悪化に伴い、資源の減少が漁家の収入に大きな影響を与えていることから、水産資源の保護増殖を図り、漁業組合が実施する事業に支援を行った。

なお、執行率が69.5%となった主な要因は、アサリ種苗が確保できなかったことに伴い、種苗養殖放流事業補助金の実績による。

(1) 種苗放流支援事業

《 事業概要 》

水産資源の保護増殖を図るため、稚貝の放流等を実施する漁業組合等に支援を行った。

区分	交付先	金額(円)
アサリ種苗養殖・放流事業補助金	香良洲漁業協同組合ほか2組合	2,190,000
津市水産振興連絡協議会負担金	津市水産振興連絡協議会	2,457,000

《 事業評価 》

一部アサリ種苗が確保できない組合があったが、稚貝放流区域において、組合で共同作業を実施し、漁場の管理を適正に行い、「つくり、育て、とる漁業」の推進を図ることができた。

(2) 漁業経営近代化促進支援事業

《 事業概要 》

漁業組合が管理する施設が老朽化し、一部破損していることから、漁業近代化促進対策事業として改修費の一部について支援を行った。

区分	交付先	金額(円)
漁業経営近代化促進対策事業補助	河芸町漁業協同組合	1,500,000

《 事業評価 》

荷捌き施設の屋根、電気設備の改修を実施したことから、水揚げされた水産物の鮮度保持、光熱費の節減が図られ、事業の推進に寄与することができた。

担当 水産振興室

2 水産振興一般事務事業

予算現額 491,000 円
事業決算額 359,354 円
予算執行率 73.2 %

《 事業概要 》

「とる漁業」から「つくり、育て、とる漁業」への転換を推進し、併せて生産基盤の整備と経営近代化対策の推進を図った。

また、水産物消費拡大を目的に、三重県水産物消費拡大協議会へ負担金の支出を行った。なお、執行率が73.2%となった主な要因は、施設修繕料の不執行による。

《 事業評価 》

漁業者個々に資源管理の必要性への認識を高めることができた。

また、協議会で作成したお魚カレンダーを津まつり等で配布し、水産物の消費拡大のPRを積極的に図ることができた。

担当 水産振興室

決算額	財 源 内 訳			
	国庫支出金	県支出金	地 方 債	そ の 他
70,960,936 円	円	40,600,000 円	15,600,000 円	円
				14,760,936 円

2 漁港等維持管理事業 予算現額 7,441,000 円
 事業決算額 6,853,482 円
 予算執行率 92.1 %

河芸、白塚、香良洲の3つの第1種漁港について、適切な維持管理に努めた。

(1) 漁港区域内維持管理事業

漁港区域内の市管理地については、除草作業等を行った。

ア 漁港背後地除草事業

《 事業概要 》

漁港区域内の除草作業を実施した。

委託名	委託場所	委託内容	金額 (円)
白塚漁港背後地除草業務委託	白塚町	草刈・清掃等 28,400m ²	1,417,500

《 事業評価 》

ゴミの不法投棄の減少、たばこのポイ捨て等による火災等の防止に努めることができた。

イ 漁港施設維持管理事業

《 事業概要 》

香良洲漁港において、荷捌き施設から岸壁までの舗装が劣化が進行したことから、水産物の運搬を円滑に行うため、舗装工事を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
香良洲漁港荷捌施設前舗装工事	香良洲漁港	アスファルト舗装工 1,500m ²	3,172,478

《 事業評価 》

岸壁から荷捌き施設までの水産物の移動が容易になり、作業効率が向上し、水産物の鮮度、品質が保たれるよう努めることができた。

担当 水産振興室

3 漁港等整備事業 予算現額 77,360,000 円
 事業決算額 56,258,579 円
 予算執行率 72.7 %

《 事業概要 》

白塚漁港は県内有数のコウナゴ、カタクチイワシの水揚げ港であるが、荒天時の静穏が得られないことから、漁船は、海が荒れるたびに避難をしている状況である。

このことから、平成19年度から5か年計画で国県の補助事業の採択を受け、南防波堤の延伸事業を実施している。平成20年度は、ブロック製作、敷設を行い、5m延伸した。

なお、執行率が72.7%となった主な要因は、地域活性化・生活対策として予算計上した漁港航路しゅんせつ及び漁場改良事業（事業費：21,100,000円）を平成21年度へ繰越したことによる。

工事名	施工場所	工事内容	金額（円）
白塚漁港南防波堤延伸工事その1	白塚町地先	ブロック製作、敷設	44,086,423
白塚漁港南防波堤延伸工事その2	白塚町地先	ブロック製作	11,260,200

《 事業評価 》

白塚漁港港内の静穏度を高める事により、入出港時の安全性を確保し、漁業活動の推進を図るため、南防波堤を5m延伸した。

担当 水産振興室

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
622,997,931 円	円	円	円	7,019,000 円	615,978,931 円

2 商工一般事務事業

予算現額 142,480,000 円
 事業決算額 141,806,537 円
 予算執行率 99.5 %

東分庁舎（センターパレス2階のうち商工観光部使用部分）及びまん中交流館に係る賃借料、共益費の支払いをはじめ、商工観光部の事務経費等の執行管理を行った。

(1) 商工一般事務事業

《 事業概要 》

各課の円滑な事務執行を目的に庁舎および公用車駐車場の借上げにかかる賃借料、共益費の支払いや公用車の維持管理など、商工観光部全体に関連する事務執行を行った。

《 事業評価 》

適正な執行管理に努めた結果、商工観光部の円滑な事務運営に寄与することができた。

(2) まん中交流館設置運営事業

《 事業概要 》

中心市街地の活性化や賑わい創出のため、センターパレス地下に文化機能、健康づくり機能、勤労者対策機能をもった交流施設を設置し、管理運営を行った。

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
まん中交流館設置等に伴うセンターパレス地階改修工事	センターパレス地下	建築工事 電気設備工事 機械設備工事	52,630,200

まん中交流館利用状況

年間利用者数 (人) (9/1~3/31まで)	36,777
----------------------------	--------

《 事業評価 》

設置にかかる周知と適正な運営に努めた結果、中心市街地の活性化及び賑わいの創出に寄与することができた。

担当 産業政策振興課
 商業労政振興課

決算額	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
1,022,174,778 円	円	1,573,100 円	円	17,969,992 円	1,002,631,686 円

1 商工業振興事業

予算現額 397,701,000 円
 事業決算額 347,172,815 円
 予算執行率 87.3 %

商工業の振興、物産の振興並びに中心市街地活性化に関する業務のほか、小規模事業者に対する融資対策業務等を行った。

(1) 商業振興事業

《 事業概要 》

各商業団体等が実施するイベントや空き地・空き店舗対策事業などに対し、商業振興に係る補助金を交付するとともに、市営駐車場の30分無料化を実施し、商業の振興と活性化、及び本市の特産品等の宣伝、紹介を行った。また、小規模事業者の資金の調達を円滑にし、経営の安定及び発展を図ることを目的として、県小規模事業資金融資要綱の規定に基づく融資を受けた対象者に対し、融資時に必要となる県信用保証協会の信用保証料を補給金として交付を行った。

商業振興事業補助金交付実績

件数 (件)	金額 (円)
29	18,215,500

津市物産まつり

開催日	開催場所	参加人数 (人)
5月31日	大門大通り商店街アーケード	18,000

県信用保証協会信用保証料にかかる補給金交付実績

件数 (件)	金額 (円)
104	19,076,646

市営駐車場30分無料化実績

区分	利用実績 (台)
アスト駐車場	299,946
フェニックス通り駐車場	176,213

センターパレスホール利用状況

利用者数 (人)	稼働日数 (日)
29,800	195

《 事業評価 》

商店街等が実施するイベント事業に対する助言や補助金の交付等により、商店街及び中心市街地の活性化や賑わいの創出に寄与するとともに、物産まつりの開催等により本市の物産及び特産品の有効的なPRを行うことができた。また、県信用保証協会の信用保証料を補給することにより、小規模事業者の資金調達が円滑化し、経営の安定化を推進することができた。

担当 商業労政振興課

(2) 工業振興事業

《 事業概要 》

地域産業の活性化を目的に、中小企業が行う新技術・新製品の開発や人材育成を支援する「中小企業振興等関係事業補助金」を設けたほか、今後の地域産業の担い手となる人材の確保に向け、小学生を対象とした「わくわく津市の工業体験」や、高校生を対象とした「高校生向け企業セミナー」を開催した。また、メカトロ関連産業の集積に向けた取り組みを県等と進めるとともに、総合計画の実現と各産業における施策の具体化を図るため、本市の工業振興の指針となる産業振興ビジョンを策定した。

中小企業振興等関係事業補助金

区 分	件数 (件)	金 額 (円)
新技術・新製品開発	2	1,746,000
人材育成	4	650,000

わくわく津市の工業体験

参加人数 (人)	訪問企業数 (社)
100	7

高校生向け企業セミナー

参加人数 (人)	出展企業数 (社)
183	26

《 事業評価 》

本市の特性と社会情勢等を踏まえて、産業振興ビジョンを策定し、メカトロ技術活用関連業種を本市の工業振興の中核業種とするなど、今後の産業振興の目指すべき方向とそのため

の取組を示すことができた。
このほか、「わくわく津市の工業体験」や「高校生向け企業セミナー」などの開催、新技術・新製品の開発や人材育成に取り組む中小企業への支援並びにメカトロ関連産業の振興など、徐々にではあるが地域産業の活性化のための施策を充実させることができた。

(3) 産業振興センター設置運営事業

《 事業概要 》

本市における産業振興の拠点として、中勢北部サイエンスシティあかつピア内に産業振興センターを設置し、コーディネーター等の企業訪問による情報収集等を中心とした業務を行った。

訪問実績

訪問回数 (回)	訪問企業数 (社)
106	81

《 事業評価 》

コーディネーターの企業訪問等によって、中小企業のさまざまな課題・問題点の把握に努め、市内企業の基礎情報の収集を図ることができた。

担当 産業政策振興課

2 地域物産活性化促進事業

予算現額	3,300,000 円
事業決算額	3,300,000 円
予算執行率	100.0 %

《 事業概要 》

豊かで良質な資源に恵まれた「津の食」の良さを再認識するため、第2回食彩フェスタinつを開催した。

事業名	開催日	開催場所	参加人数(人)
食彩フェスタ in つ	1月12日	メッセウイング・みえ	30,000

《 事業評価 》

地物を活用した商品の掘り起こしや新たな商品開発のきっかけづくりを行ったり、津の物産が一堂に会する場を設けたりすることにより、津の食材の魅力をPRすることができた。

担当 商業労政振興課

3 企業誘致活動事業

予算現額 661,347,000 円
 事業決算額 656,777,958 円
 予算執行率 99.3 %

産業振興拠点である中勢北部サイエンスシティとニューファクトリーひさい工業団地の早期完売に向け、積極的な誘致活動を行うとともに、早期の立地決定や設備投資意欲を促進するため、津市企業立地促進条例に基づく奨励金を交付した。

(1) 企業誘致活動事業

《 事業概要 》

誘致活動により、中勢北部サイエンスシティへ3社、約10.1haの分譲を行った。

《 事業評価 》

本社機能が集中する首都・中京・関西の三大都市圏への企業訪問をはじめ、産業人交流会議や企業展へのPRブース出展、インターネット広告など、様々な手法・機会を捉えて効果的でタイムリーな誘致活動を展開することができた。

(2) 企業立地奨励金交付

《 事業概要 》

本市への企業の立地を促進するため、津市企業立地促進条例（平成18年 津市条例第311号）に基づき、指定事業者に対し、奨励金を交付した。

区 分	件 数	金額(円)
津市企業立地促進条例 (平成18年 津市条例第311号)	15	567,923,600
津市企業立地促進条例 (平成10年 津市条例第1号) (津市企業立地促進条例の附則 の規定に基づく経過措置による)	11	69,513,600
久居市企業誘致促進条例 (平成10年 久居市条例第26号) (津市企業立地促進条例の附則 の規定に基づく経過措置による)	1	5,878,000
安濃町地域振興の奨励に関する条例 (昭和63年 安濃町条例第19号) (津市企業立地促進条例の附則 の規定に基づく経過措置による)	2	2,642,900
合 計	29	645,958,100

《 事業評価 》

立地予定企業の負担を軽減することにより、企業進出を促進し、産業の振興に寄与することができた。

担当 産業政策振興課

4	工業用地維持管理事業	予算現額	13,368,000 円
		事業決算額	10,624,975 円
		予算執行率	79.5 %

《 事業概要 》

産業振興拠点である中勢北部サイエンスシティ及びニューファクトリーひさい工業団地等の分譲用地等を、各事業主体と連携のもと定期的な維持管理を行った。

なお、執行率が79.5%となった主な要因は、ニューファクトリーひさい工業団地環境影響評価事後調査業務委託料の契約差金による。

《 事業評価 》

工業団地の適正な維持管理を行うことにより、団地の品質保持と企業誘致の促進に寄与することができた。今後も企業誘致活動を有利に展開するため、商品価値の向上に努めていく。

担当 産業政策振興課

5	久居駅東口駐車場維持管理事業	予算現額	4,480,000 円
		事業決算額	4,299,030 円
		予算執行率	96.0 %

《 事業概要 》

自家用車での久居駅利用者に対する利便性を高めるため、自動清算システムの公共駐車場の維持管理を行った。

施設名	利用台数 (台)
久居駅東口駐車場	80,392

《 事業評価 》

駅利用者及び駅周辺における駐車場需要に対応することにより、公共交通機関の利用促進に寄与することができた。

担当 久居総合支所
産業環境課

款 7 商工費 項 1 商工費 目 3 観光費

決算額	財 源 内 訳				一般財源
	国庫支出金	県支出金	地方債	その他	
395,810,467 円	29,729,000 円	3,460,000 円	円	149,879,174 円	円

1	観光振興事業	予算現額	119,357,000 円
		事業決算額	116,851,302 円
		予算執行率	97.9 %

本市の観光行政指針となる観光振興ビジョンを策定するとともに、津市観光協会等と連携を図りながら、本市の魅力を県内外に発信するシティプロモーション関係事業や都市間連携等による広域的な観光客誘致事業への取り組みを行った。

(1) 主な事業補助

《 事業概要 》

観光協会等の行う観光客誘致事業や観光宣伝事業に補助を行うとともに、各種地域イベントの支援を行った。

区分	主な事業	金額(円)
津市観光協会	津春まつり、津の海諸行事 各地域桜まつり協賛 パンフレット、イメージポスター作成、 県外キャンペーン	35,950,000
柗原温泉振興協会	観光客誘致、ほたるコンサート、環境美化	8,465,000

《 事業評価 》

観光協会等との連携により、機能的で効果的な観光情報の提供に努めた。また、各種イベントを支援することで、本市の魅力の向上に寄与した。

(2) 各種イベント実行委員会補助

《 事業概要 》

各種イベントの実行委員会に補助を行い、実行委員会がイベントを主催することで、住民・団体・行政が一体となったイベントの実施と「津市のPR」を行った。

イベント名	開催日	開催場所	来場者数(人)	金額(円)
津花火大会	8月10日	阿漕浦海岸	150,000	9,000,000
ビーチバレーin御殿場	7月27日	御殿場海岸	5,000	4,500,000
津まつり	10月11～12日	市役所周辺	390,000	26,496,000
津の街音楽祭	2月15日	白山町	400(応募者107組)	14,000,000

《 事業評価 》

津花火大会は、津の海岸で行なう歴史あるイベントであり、多くの市民・企業等の協賛に支えられ、市内外からの来客で賑わい、本市の観光客誘致に寄与することができた。

ビーチバレーin御殿場は、13回目で、国内における3人制のビーチバレー大会としては、最大級のイベントに成長し、関東、関西にいたる遠隔地からの出場者も増え、御殿場海岸をはじめとする津市の魅力発信に寄与することができた。

津まつりは、合併後の一体感醸成に寄与すると共に、市民参加の多彩な演目や非営利団体ブース、県内外からのゲスト参加など、他に見られない総合フェスティバルとしての魅力に溢れ、津市最大のイベントとして多数の観光客を誘致できた。

津の街音楽祭は、全国のアマチュアミュージシャンから応募があり、本市の認知度を若者層を中心に高めることができた。

(3) シティプロモーション関係事業

《 事業概要 》

今年度から、シティプロモーション担当が設置されたことに伴い、フィルムコミッション団体への補助やコンベンション開催支援補助成など、新たな観光交流を目指した取り組みを進めた。

区分	件数(件)	金額(円)
フィルムコミッション補助事業	1	93,810
コンベンション開催支援補助事業	4	900,000

事業名称	事業内容
観光ボランティア育成事業	「観光ボランティアガイド」や「おもてなしの心」に対する理解を深めるため、「観光おもてなし研修会」を開催
広域観光連携事業	伊勢市との間に「津・伊勢観光振興協議会」を設立し、共同パンフレットの作成などを実施

《 事業評価 》

「津・伊勢観光振興協議会」を立ち上げるなど、広域観光事業を展開するための基盤整備を行うことができた。また、フィルムコミッション団体や観光ボランティアガイド団体への支援を通じ、本市の魅力を県内外へ情報発信するための基盤づくりに寄与することができた。

担当 観光振興課

2 地域間交流促進事業

予算現額 3,200,000 円
 事業決算額 3,150,000 円
 予算執行率 98.4 %

《 事業概要 》

域内交流の促進を図るため、「歩く」楽しさ、「体験する」楽しさ、「学ぶ」楽しさを体感するイベントを「津らくらくフェスタ」と称し、観光拠点施設・駅等を巡るループバスを運行した。

区 分	乗車人数 (人)		1日平均 (人)	
	左回り	右回り	左回り	右回り
第1便 (8:00~10:45)	754	530	16.4名	11.5名
第2便 (11:30~14:25)	1,247	390	27.1名	8.5名
第3便 (15:00~17:45)	497	450	10.8名	9.8名
合 計	2,498	1,370	54.3名	29.8名

《 事業評価 》

津南方面において、7月中旬から11月下旬の土・日・祝日に、なぎさまち・中心市街地と津南方面（榊原温泉・レークサイド君ヶ野・リバーサイド真見・とことめの里）を結ぶ無料のバスを運行し、「歩く」をコンセプトにまちなみ、史跡、自然を活かしたウォーキング等のコースを設定した。今回は、従来のコースの逆周りも設定し、新たな参加者の開拓にも努めることができた。また、体験者アンケート調査によると、他のエリアへの運行希望もあるため、今後は、新たなコースについて検討していく。

担当 観光振興課

3 地域資源活性化推進事業

予算現額 2,800,000 円
 事業決算額 2,758,582 円
 予算執行率 98.5 %

《 事業概要 》

地域資源を活かした新たな地域振興の取組みにおける基礎的な部分として、森林セラピー基地の認定や、空き家・遊休農地を活用した二地域居住促進の取組みによる田舎暮らし体験塾の開催などを行った。

《 事業評価 》

森林や歴史的遺産等の地域特有の資源を活かし、人間の心身の健康にも配慮した新しい観光スタイルであるヘルスツーリズムの推進を図るため、二地域居住及び定住促進のシステムの確立に努めるとともに、今後は、具体的な施策の展開を図るため、地域と一体となった取り組み強化を図っていく。

担当 観光振興課

4 観光施設維持管理事業

予算現額	284,853,000 円
事業決算額	273,050,583 円
予算執行率	95.9 %

《 事業概要 》

榊原自然の森温泉保養館「湯の瀬」の改修工事をはじめ、錫杖湖水荘、レークサイド君ヶ野の宿泊施設、キャンプ場などの観光施設の運営及び維持管理を行った。

榊原自然の森温泉保養館利用状況

区 分		年間利用者数 (人)
大人	12歳以上65歳未満	60,172
	65歳以上	82,471
12歳未満		9,123

工事名	施工場所	工事内容	金額 (円)
榊原自然の森温泉保養館 湯の瀬改修工事	榊原町	建築工事 電気設備工事 機械設備工事	63,191,622

錫杖湖水荘利用状況

区 分	年間利用者数 (人)
湖水荘 (宿泊)	704
湖水荘 (日帰り)	14,879

レークサイド君ヶ野利用状況

区 分	年間利用者数 (人)
レークサイド君ヶ野 (宿泊)	808
レークサイド君ヶ野 (日帰り)	17,397

その他観光施設利用状況

地 域	主な施設名	年間利用者数 (人)
津	阿漕塚記念館	3,674
一志	矢頭中宮キャンプ場	1,372
白山	青山高原保健休養地	10,381
美杉	スカイランドおおぼら	1,826
美杉	道の駅美杉	39,749
美杉	ヒストリーパーク塚原	2,105

《 事業評価 》

施設の老朽化や利用者の減少に伴う使用料の減収等、各施設を取り巻く状況は厳しいが、各施設において、施設の改修や新しいサービスの提供など利用者増への工夫を重ねていく。

担当 観光振興課